

2010年度 関東フットサル審判員研修会参加報告

フットサル2級審判員 佐藤 康

1. 日 程

2010年11月6日(土) 7日(日)

集合：2010年11月6日(土)9:30 東京都北区滝野川総合体育館 会議室(審判控室)

2. 場 所

- ① 実技研修：東京都北区滝野川総合体育館
第16回全日本ユース(U-15)フットサル大会関東大会
第1回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会関東大会
- ② グループディスカッション及び座学研修：アルカディア市ヶ谷(私学会館)会議室

3. 参加者(敬称略)

- 関東サッカー協会審判委員会フットサル部(4名)
- アセッサー(4名)
- 研修者(17名)
東京都4名、神奈川県4名、千葉県3名、山梨県2名、埼玉県1名、茨城県1名、栃木県2名

4. 研修日程及び内容

2010年11月6日(土)

- ① 9:00～9:30 受付
- ② 11:00～18:00 実技研修(第1ラウンド15試合、試合後反省会) 主審・第2審判・タイムキーパーを担当
- ③ 19:30 電車にてホテルまで移動(グランドヒル市ヶ谷)
- ④ 20:00～22:00 研修会(自己紹介、懇親会、反省会)

2010年11月23日(日)

- ① 6:00～6:45 モーニングトレーニング
- ② 9:00～12:00 各グループディスカッション

5. 研修会の課題

「競技規則の改正について」

できた点

できなかった点

注意事項について

- ① 時間の厳守(試合時間・タイムアウト等)

- ② マッチコーディネーティングを確実に行う。
- ③ 審判報告書の確実な記載
- ④ 打ち合わせ及び反省会の実施と記録

6. 研修会に参加しての所感

初日の第1試合のBピッチの主審を担当しました。この試合での自分の課題としてポジションングとU-15のルール(ゴールキーパーからのボールが前方に展開された時、競技者に触れるか、守備側ピッチに直接触れずにハーフウェイを超える)の適用について重点を置きリフティングをしました。ポジションングについては、前週に体育センターでPuma_Cupの試合がありポジションングについて小野寺祐サッカー1級審判員より指導を受けていたこともあり、ほぼ問題ありませんでした。また、コーナーキック時の4秒ルールについて1つ採用できる反則があり、ゴールクリアランスにすることができました。U-15のルールについては、1つ適用いなければならない反則がインプレー中にあり、ボールを追ってしまって意識がなく、第2審判に援助していただきました。警告は2枚(距離・反則)私が出しました。試合の後半の残り時間が少なくなった時に、インプレーでゴールキーパーが保持したボールがツバアウトしてハーフウェイを超えたプレーに対して相手競技者チームの監督が間接プレーになる反則だと判定に対する異議がありました。実技後の反省会では、インストラクターより、判定基準に対しては合格点。第2審判からも判定とカードの基準が一緒だったと評価していただきました。ただし、ファールで最初の手を使用した競技者のファールが取れずその後の相手競技者の行為を取っていたことを指摘されました。オコボールがありました、シグナルが確認できなかったということで、確認方法とシグナルの指導を受けました。また、フリーキック時にピッチに入った時はあわてずピットを出てから試合再開の笛を吹く。警告のケース(キックイン)時に規定の距離を守らないは、厳しすぎるのではないかと①離れるように促す。②笛を使う。③それでも離れない時は警告する。というプロセス(誰にでもわかるまたは知らせる)が重要だと言われました。たしかに私は、キックイン時に5mの距離を守らなかったのですぐにその競技者を警告しました。その理由として、マッチコーディネーティング時の注意事項で5mの距離を守ることをしっかり選手に伝えるようお願いしていたこと。それ以前に同じ選手がフリーキック時に同じように距離を守っていないことがあり戦術的、意図的な行為だと判断したことを伝えましたが、それが選手やベンチ、観客にわかる工夫が必要であると言われました。監督の判定に対する異議については、退席させた方が良かったのではないかと退席させた場合はスタッドに上げてしまうと指示されることが考えられるので、オアシルをお願いして更衣室に試合終了まで退席させるのが最善であると指導されました。タイムキーパーを担当した試合では、6個目の反則がありましたが、フリーキックをクイックでスタートされて第2PKからの再開ができませんでした。5個目の反則時にホンを鳴らして5個目の反則であることを知らせるアクションをしましたが、第2審判に伝わっていませんでした。自分の仕事を完璧にすることが重要であるが、肝心なのは、5個目の反則を確実に伝える。6個目の反則時にホンを使用して試合を止めて知らせるべきだったと指導されました。

2日目は3班に分かれてのグループディスカッションでそれぞれが前日の実技に対する反省点を出し合い議論して発表しました。関東サッカー協会審判委員会サッカー部の方々よりアドバイスをいただき12時に解散となりました。

最後に、去年に続き2回目の研修会に参加する機会を与えていただいた神奈川県サッカー協会審判委員会及びサッカー部の方々に対し、お礼を申し上げます。今回の経験を私自身の審判向上に生かすとともに、神奈川県サッカー審判の方々にも今回の研修会での指導内容を伝えていこうと思います。

以上